

(別紙4(2))

事業所名 グループホームさくらいふ六軒屋

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 1 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に対する職員の意識が低い。	全職員が理念を理解し行動に写す。	毎日出勤時、確認する。	6ヶ月
2	2	地域の方との交流がコロナ感染症問題と重なって限られてしまっている。	コロナ感染症問題が落ち着いたら、併設の小規模多機能事業所と連携しながら地域の方との交流の機会を増やしたい。	年に一度は、周年祭を小規模多機能事業所を開催する。コロナ感染が落ち着いたら地域の方を呼んで交流を行う。	12ヶ月
3	10	感染症問題により、家族との交流の機会が限られてしまっている。	感染症問題が落ち着いた際には、家族との交流の開催を行う。	感染症が落ち着くまでは、お手紙によるお写真を送る。アンケート等を実施していく。	2ヶ月
4	35	非常災害時における備品の確認ができていない。	非常時の備品の確保を行っていく。	必要な備品を整備して、揃えていく。	6ヶ月
5	49	外出行事が感染症の問題もあり行うことが出来ていない。	外出が出来るまでは、散歩の機会を増やす。	散歩の機会を増やしていく。感染症が落ち着いたら外出行事を検討していく。	1ヶ月
6	54	シンプルな居室が多く、本人様らしさが少ない。	本人様の馴染みの物を飾る。	本人様が作成されたものを飾る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。